

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	地域子育て支援センター事業		基本目標	相談支援体制の強化			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	濱本 明俊	評価者	井上 敏郎	開始年度 H18 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町内に居住する子育て家庭										
	意図・目的	育児に悩む家庭の問題解決、情報提供										
事業の内容	育児相談、電話相談、保健相談、遊具開放、絵本貸し出し											
22年度決算額		2,387	千円	23年度予算額		7,250	千円	事業従事者数	H22 0.10	人	H23 0.11	人
主な支出項目	補助金	2,387	千円	国庫支出金	3,625	千円	22年度人件費	684 千円				
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	785 千円				
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		50.0	%		
			千円	一般財源	3,625	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
			千円			千円						
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		地域子育て支援センター事業補助金						
	補助交付団体			福)石井記念友愛社		補助金要綱						
	22年度	補助額	2,387,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	7,250,000	円	終期	年度	
		団体の決算額	3,441,000	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
		補助の割合	69.4	%								
繰越額		0	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 育児相談事業数	育児に悩む家庭の把握と問題の解消をするために育児相談事業を行う	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 育児サークル活動	施設の利用を促進し、併せて子育て家庭の孤独感の解消を行う	
	2		
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	育児相談事業数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	育児サークル活動	目標値	25	25	25
		実績値	25	25	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	地域子育て支援センター事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥(必 当要 性 性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有 効 性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効 率 性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協 働 性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		15	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公 益 平 性 性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	2	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	2	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		5	-
そ の 他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	子育てに関する専任職員を配置し、子育てに悩む保護者からの相談等をワンストップで解決に導くセンターとして、充実を目指す。	○			
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎本年は公用車も貸し出して、更なる拡充が進められると考える。 ◎健康づくりセンターとのタイアップして子育て支援向上を図ってもらいたい。 ◎相談も寄せられており、健全な子育て支援のためにも事業は必要である。 ◎児童虐待など未然に防ぐためにも他の機関との連携が必要である。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	